



花巻小5年
瀬川 昊正 さん

ぼくは、この学習会に参加するまでは、平和や戦争について深く考えたことはありませんでした。しかし、今回参加してたくさんのごことを学びました。

8月6日、この日は原爆が落とされた日です。ぼくたちは、平和記念式典に参列しました。約90ヶ国の代表や総理大臣も参列していました。そのスピーチを聞いて、やっぱり平和は大事なんだなあと思いました。

広島市の街も、あんな悲さんなじょうきようだったけどよくここまで再せいさせてすごいいと思ったし、復興をあきらめずになしとげた人たちもすごいなあ、と思いました。



宮野目小6年
駿河 椿 さん

私は、今までで一番怖くて、とても不安になった東日本大震災を体験しました。それでも、東日本大震災より戦争の方がすごく怖かったと思います。実際に広島に行つてびっくり被爆地広島について詳しく勉強したいと思ひ、この非核平和学習会に参加しました。



矢沢小6年
畠山 純伶 さん

した。一瞬にして多くの命をうばった、原子爆弾や平和について学んできました。未だに世界では戦争の終わっていない所や核兵器を持っている国があります。みんなが笑顔になれること、みんなが幸せになること、このことを世界の人々ができるとき平和になると思ひます。ぼくは、広島へ行き、戦争の怖さを知りました。そして、世界中から戦争がなくなり、平和な世界がおとずれればいいなと強く思ひました。

私が非核平和学習会に参加しようと思つたきっかけは、五年生の時に読んだ「INORI」という本です。この本には、佐々木禎子さんという一人の少女のことが書かれていました。禎子さんは二才の時に被爆し、その後白血病になり、中学校に入らずに亡くなつてしまいました。その話がとても心に残つていたので、今回の非核平和学習会に参加しました。今から73年前の8月6日、月曜日の8時15分。たった一つの核兵器が、たった一瞬でたくさんの方の命をうばいました。今もなお苦しんでいる人達がたくさんいます。これから、こんな事がもう二度と起こつてほしくないです。だけれども、世界のどこかでは核兵器が残つていて、戦争をしている国もあります。その核兵器を絶対に使わないで、戦争のない平和

平和の尊さを考えてみませんか

私は、この学習会に行く前は「戦争つてこんな感じなんだ。」と適当に思つていただけ、実際に行つて見た後は、原子爆弾の強さやおそろしさ、被爆者の思いなど、戦争のことが詳しく分かり、行く前の私と実際行つて見た私の気持ちがいぶ変化しました。これからの私は、この非核平和学習会で学んだことを、学校の友達や世界中に教えていき、大きくなつて私が大人になったら、私と同じように自分の子どもを非核平和学習会に参加させてあげたいです。



桜台小5年
皆川 陸仁 さん

ぼくは、三年生のときに「はだしのゲン」という本に出会い、戦争や広島・長崎の原子爆弾での悲しさや苦しみを知ることができました。ぼくは、さらにくわしく広島県の原子爆弾でのひがいを知りたいと思ひようになり、実際に広島県についてみると、ぼくの知らなかったことがたくさんありました。

この広島での学習会で学んできたこと、特に、原子爆くだん・戦争のことは、絶対に忘れてはいけないことだと思ひ、起こしてもいけないことだと思ひます。だからぼくは、このことを戦争を知らない人たち、友達にも伝えながら平和を願ひ続けていきたいです。そして、戦争や原子爆弾で苦しんでいる人たちが、戦争や原子爆弾で苦しんでいる人たちが、身まわりで苦しんでいる人たちが

な世界になつてほしいと私は願つているし、みんなにも伝えていきたいです。



矢沢小6年
菅野 未遥 さん

2日間、広島に行つて学んだ事は、平和の大切さやありがたさを学びました。

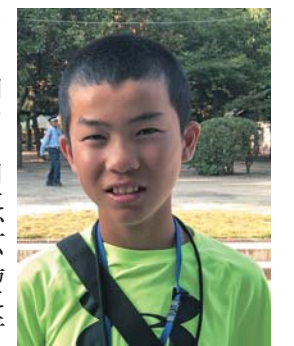
2日目は、記念式典に参列してきました。子供だひひようのはなしというのがあり、平和についてはなしてました。その2人は、「平和とは未来があること。」「平和とは、夢や希望があることです。」と、言つていました。私はそれを聞いて本当にその通りだと思ひました。未来があれば夢や希望が持てるからです。これからの毎日を大切に生きて、これからも、ずっと平和がつづいてほしいと思ひました。



宮野目小6年
森川 康亮 さん

ぼくは、8月5日、8月6日に非核平和学習会に参加しました。8月5日は、広島平和記念資料館に、8月6日は、式典に参加しました。

いた時には、相手のために自分ができることを進んでやつていきたいと思ひます。



南城小6年
白藤 優樹 さん

8月5日と6日に、広島に行つて、「非核平和学習会」に参加してきました。今まで、原爆は、大きい爆だんとか印象がなく、もっと原爆の事を知りたいと思ひ、参加しました。

1945年8月6日午前8時15分。たった一発の原爆が、何の罪もない沢山の人の命、様々な物、そして幸せな日々をあとと言う間に奪つていきました。重大な後遺しようを今もなおかかえ苦しんでいる人もいます。そんな核兵器は、絶対になくすべきだ、と強く思ひました。

「世界平和」は、この地球に住む人として、絶対に守るべきです。これからは、僕たちが平和な世界をつくつていきたいと思ひました。



八幡小5年
三瓶 由偉 さん

ぼくは、被爆地広島に2日間行つてきま

今、被爆して生きている方は少ししかいません。なので、ぼくたちは、かくへいきのおそろしさなどを、たくさんの人に伝えていき、この世界からかくへいきでくるしむ人や亡くなる人たちをなくして、全体で助け合うような世界になつてほしいです。みなさんも、自分の大切な人がいなくなつてしまつたら、とてもかなしくなつて思ひます。この学習会で本当に大切なことが分かつてきたと思ひます。



湯口小6年
高橋 陽菜 さん

73年前の8月6日、広島に投下された一つの原子爆弾によって、たくさんの方の命がうばわれました。世界で初めて原爆の被害にあつた広島に実際に行つて学びたいと思ひ、非核平和学習会に参加しました。仲間と共に広島で見えてきたもの、感じたことは、忘れることができない貴重な経験となりました。

原爆投下から73年が経つた今、次の世代に核兵器のおそろしさや戦争がもたらした事実を伝えていかなければなりません。未だに世界には多くの核兵器が存在しています。私たちが今できることは何か、非核平和学習会で感じ学んだことをこれからも伝えていきたいと思ひます。